

問

人生100年時代への対策は

町長

健康寿命延伸への取り組みを実施



かわばた 河端 よしえ 芳恵 議員

消防庁舎が移転してきたー！安心倍増

高齢化率40%の対策

問 高齢化が進み人生100年時代となって本町の高齢化率が40%近くなっている。団塊ジュニアが高齢者になる2040年問題もあるがその対策は。

町長 大きな問題として医療や介護の負担増加や社会保障への不安などがある。

本町では「健康寿命の延伸」に向けた介護予防と健康作りを強化するための保健指導やフレイル予防の「いきいき百歳体操」などの健康教育の取り組みをしている。



いきいき百歳体操で健康に

問 本町2090世帯のうち約3割の700世帯が非課税世帯となっているがどのように捉えているか。

町長 多くが高齢者と認識はしている。割合は三分の一なので多いと感じている。

問 65歳以上の夫婦世帯は341世帯、1人世帯は435人、その中でも70歳以上の一人暮らしは188人。男性46人、女性は142人と約3倍になっている。支援を必要とする人の把握は。

町長 老人クラブでの介護予防教室、民生委員児童委員や地域担当職員の訪問、地域住民からの情報提供などで把握し支援につなげる。

後期高齢者医療制度 窓口負担の対応は

問 10月から窓口負担が変わる人もいる。2割負担になる人には配慮措置があるが申請や口座登録などの周知やサポート体制の考えは。

町長 配慮措置を受けるための申請手続きはなので不利益を被ることではないと考える。更新時にリーフレットを同封し、広報やホームページでも知らせているが不明な点は問い合わせしてほしい。

老人学への取り組みは

問 「ローバ（老婆）は一日にしてならず」社会教育で老人学（生き方学）などへの取り組みが必要と思うがどのように進めるか。

しく学びながら、自らが生きがいを見つけられるような社会教育活動を行っており、これからは経験や知識を発揮し次世代へ継承する活躍の場作りを努めていきたい。



高年齢に向けた備えとして「老年学」があるが「健康・生活・生きがい」などの問題を解決し、明るい老後の実現を目的としている。

教育長 教育委員会では高齢者の趣味活動や健康の保持、知識や経験を生かした活動など楽



河端議員の一般質問を視聴できます